

令和4年7月1日

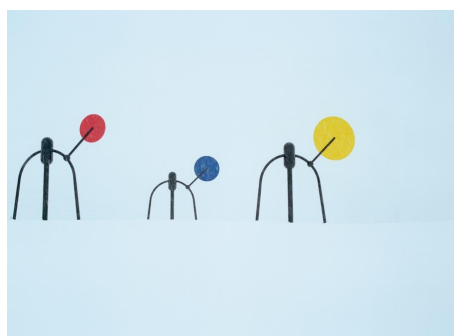
【富山県美術館】YUUGU ～佐藤卓の遊具と藤井保の写真展～ 開催について

富山県美術館では開館5周年を記念し、7月30日（土曜日）から8月30日（火曜日）まで、1階 TAD ギャラリーにて「YUUGU ～佐藤卓の遊具と藤井保の写真展～」を開催いたします。

富山県美術館の大きな特徴の一つである屋上庭園「オノマトペの屋上」には、グラフィックデザイナー・佐藤卓氏がデザインした「つるつる」や「ぐるぐる」といった擬態語（オノマトペ）の名前が付けられた遊具が設置されています。

このたび、佐藤氏が映像と遊びを融合させる新しい試みにチャレンジし、次世代のメディア遊具「OFURO」をデザインしました。また2021年には、写真家・藤井保氏がこれら遊具を撮影した写真集「YUUGU2」が出版されました。

本展では、広く一般に公開されるのは初めてとなる「OFURO」と、写真集「YUUGU2」から約20点の遊具の写真を展示紹介します。屋上遊具の鑑賞や「OFURO」の体験を通して、佐藤卓氏のデザイン・ワールドを堪能いただき、アート&デザインの理解を深めるとともに、「オノマトペの屋上」での時間を過ごすことで、屋上庭園の意義や楽しさを改めて実感していただける機会となることを願っています。



撮影 藤井保

開催概要

展覧会名：YUUGU ～佐藤卓の遊具と藤井保の写真展～

会期：2022年7月30日（土曜日）～8月30日（火曜日）

休館日：水曜日

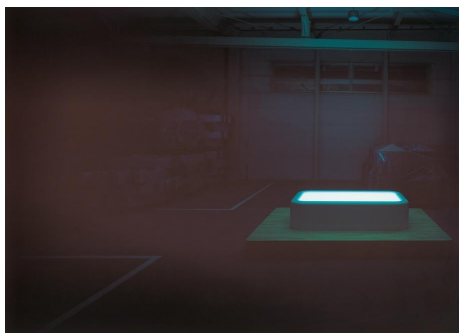
開館時間：9時30分～18時00分（入館は17時30分まで）

会場：富山県美術館 1階 TAD ギャラリー

主催：富山県美術館、TSD0、ジャクエツ

観覧料：無料

メディア遊具 OFURO



撮影 藤井保

「OFURO」は映像とあそびを融合させた、次世代のメディア遊具です。

家庭生活の中にもある「お風呂」をのぞき込むと、そこにはお湯ではなく、図形や文字を使った色とりどりの映像や、心地よい音が沸いています。子どもたちは外から眺めたり、浴槽に溢れる映像の中に飛び込んだりして、身体でメディアと触れ合う、新しい遊びを体験することが出来ます。日常的な「お風呂」と非日常的な「映像の空間」、この不思議な掛け合わせが子どもたちの新しい感性を養っていきます。

写真集 YUUGU2

タイトル：YUUGU2

発行元：株式会社ジャクエツ

発行日：2021年5月26日

佐藤卓氏デザインの遊具を、藤井保氏が撮影。佐々木寿信氏の詩画集「麒麟さん」の詩を数編添えた、大判の写真集。

アーティストコメント

大人が忘れてしまったもの

「オノマトペの屋上」と命名した富山県美術館の屋上は、オノマトペ（擬音語・擬態語などの総称）から発想した遊具が並ぶ。日常会話で、日本ほど豊かに擬音語・擬態語を使う国は他にない。この日本固有の言葉の文化と遊具を一体化して、まるで彫刻のような遊べる立体を美術館の屋上に用意してはどうかと思った。ARTとDESIGNの両方をテーマに掲げる美術館の屋上が、子ども達の創造の場になればと思う。この屋上遊具に、藤井保氏が写真を通して、また不思議な生命力を与えてくれた。

「OFURO」は、その名の通りお風呂がテーマの遊具である。子どもにとってお風呂は、ただ身体を洗うだけの場ではない。そこはほとんど遊び場でもある。私も小さな頃、よく模型の船を浮かべて遊んだ。そんなお風呂のような遊具をつくってみたいと思った。デジタルデバイスを使った新しい遊具をつくりたいというJAKUETS徳本社長の想いも重なり、湯船の底にモニターを設置し、映像の上で子ども達が遊べるようにした。

このたびの展覧会は、富山県美術館の開館5周年にあわせ、これら遊具の魅力を紹介するものである。そもそも子どもにとっては、勉強することも遊ぶことも、食べることも話すことも、全て生きるという1つのシンプルなこと。それを無理やり分けるのは大人の思考である。遊具を考えるとすることは、大人が忘れてしまった記憶を思い出させてくれる、貴重な体験でもあるのです。

佐藤卓の内なる宇宙

卓さんのデザインしたプロダクトは何時も空を飛んでいる。
初めて一緒に仕事をしたのが約 30 年前、その時から口紅やファンデーションの先端は 空気を切り裂いて飛ぶために弾丸のフォルムをしていた。
そして宇宙の闇を星に向かって飛んでいる姿にはいつも太陽の光があたり、グラデーションがシルエットを美しく浮かび上がらせていた。
今回、富山県美術館の屋上に設置された遊具達をみた時、やはり不思議な生命体の匂いがした。
この遊具達は夜は地を離れ空を飛んでいる夜行性の生物に違いないと直感した。 撮影は昼間の静止した姿と、夜の動き出した直後の姿、そして雪の富山の眠りから目覚める瞬間にも立ち会う事が出来た。
卓さんのデザインには、いつも妖しさと愛らしさが同居している。
堂々としているのに威圧感がない。
妖しくて色気があるのに品がある。
そして想像力を刺激される。
新作の遊具「0FUR0」は敦賀のジャクエツ倉庫内で撮影した。
倉庫の闇の中に静かに眠る「0FUR0」は自らの内にある光で発光をし、そこに宿ったグラデーションの美しさはエアブラシで描いた絵の如く美しく輝いていた。
その姿形はこれから始まる演劇的な舞台をも思わせた。
子ども達には是非とも闇の中で「0FUR0」と出会って欲しい。
そして始まるドラマの中を浮遊して欲しい。
闇と光の美しさと妖しさを体感して欲しい。
この「0FUR0」も倉庫を飛び立って謎の星に着陸をしました。
ちょうどこの撮影をしていた頃、世界のニュースは“はやぶさ 2”の宇宙からの帰還と再びの旅立ちを繰り返し伝えていました。

藤井保

プロフィール

佐藤卓（さとうたく）



グラフィックデザイナー。1979 年東京藝術大学デザイン科卒業、1981 年同大学院修了。株式会社電通を経て、1984 年佐藤卓デザイン事務所設立。現株式会社 TSD0 代表。「ニッカ ピュアモルト」の商品開発から始まり、「ロッテ キシリトールガム」「明治おいしい牛乳」のパッケージデザイン、「PLEATS PLEASE ISSEY MIYAKE」のグラフィックデザイン、「金沢 21 世紀美術館」「国立科学博物館」のシンボルマークなどを手掛ける。また、NHK E テレ「にほんごであそぼ」アートディレクター、「デザインあ」総合指導、21_21DESIGN SIGHT ディレクター及び館長を務めるなど多岐にわたって活動。展覧会に「water」「縄文人展」「デザインの解剖展」「デザインあ展」など。著書に「塑する思考」（新潮社）など。

藤井保（ふじいたもつ）



1949 年島根県生まれ。写真家。

主な写真集：「ESUMI」「ニライカナイ」「カムイミントラ」「AKARI」（すべてリトルモア）深澤直人氏との共著「THE OUTLINE」（ハースト婦人画報社）「藤井保の仕事と周辺」（六曜社）「Form of Harmony」（土屋鞆製作所）「YUUGU」（ジャクエツ）等。

主な写真展：「月下海地空」（チューリッヒ）「タイムトンネル・藤井保・旅する写真」「カムイミントラ」「THE OUTLINE」「BIRDSONG」（東京）「MEDIUM」（台北）「私が見たもの、出会った人」（キャノンギャラリー S）「藤井保写真展」（石見銀山大森町、群言堂）等。毎日デザイン賞、朝日広告賞、ADC 賞他多数。

（写真：七咲友梨）

取材・掲載について

取材・掲載の申し込みは所定の申込書をお送りください。

取材・掲載申込書（PDF：3,182KB）（別ウィンドウで開きます）

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US



YUUGU ～佐藤卓の遊具と藤井保の写真展～
広報用画像・取材申込書

E-mail: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

■次ページ記載の注意事項をお読みいただき、以下の必要事項をご記入の上、お送りください。

申込日			
貴媒体名			
(WEB の場合の URL)			
貴社名／部署			
ご担当者氏名		E-mail:	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	
掲載／放送予定日	年 月 日	掲載号発売日:	年 月 日
取材希望日 ※取材希望の場合	日時	撮影 希望あり・希望なし ※ご希望にそえない場合があります。	
記事・企画内容			

※ご記入いただいた個人情報は、広報用写真貸出しの目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

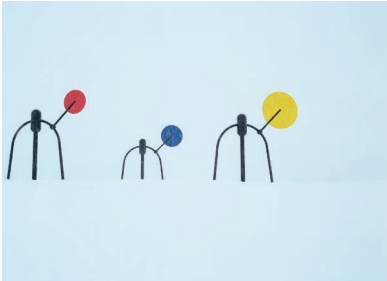
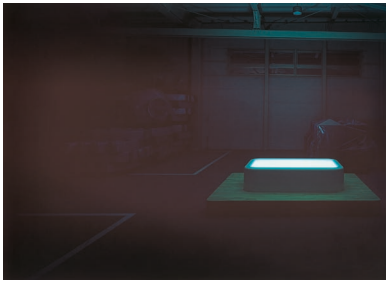
お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20
tel: 076-431-2711 fax: 076-431-2712
メール: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当: 広報: 川浦
展覧会に関して: 八木、渡辺

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US



YUUGU ～佐藤卓の遊具と藤井保の写真展～

※ご希望の画像にチェックを入れてください。

① ☐	② ☐	③ ☐
		
撮影 藤井保	撮影 藤井保	OFURO イメージ

富山県美術館 広報用画像について

- ◎ 本広報用画像の使用は、出版・放送(番組)・WEB 等、富山県美術館および展覧会の広報を目的とした報道に限らせていただきます。展覧会の広報にあたっては、展覧会名、会期、会場を必ずご掲載ください。
- ◎ 画像は「広報用画像申込書」に掲載または放送内容を具体的に記載の上、ご申請ください。富山県美術館より画像データをお送りいたします。提供した画像データは、使用后すみやかに破棄してください。
- ◎ 使用の際は、「広報用画像申込書」をご参照の上、所定のキャプションとクレジットを表記してください。
- ◎ 画像はトリミング(切り取り)はせず、全図で使用してください。作品が切れたり、キャプション等の文字や他の画像を重ねてのご使用はできません。
- ◎ WEB にてご掲載の場合には、コピーガード(※右クリック不可)を施す、画像サイズを落とすなど、2 次使用防止への可能な限りのご対応をお願いします。
- ◎ ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横切らせたり、余白を削除したりすることはしないでください。
- ◎ 申請をいただいた媒体以外の企画(例:出版物表紙、広告素材使用は不可)での二次使用はできません。再掲載・再放送などを希望される場合は、別途申請が必要です。
- ◎ 基本情報と画像使用の確認のため、校正をメールで富山県美術館広報担当までお送りくださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載および放映いただいた場合、お手数ですが掲載紙・誌、URL、番組収録の DVD、CD などを富山県美術館へご提供をお願いいたします。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20
 tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712
 メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
 担当 : 広報 : 川浦
 展覧会に関して : 八木、渡辺

MAKE
TOYAMA
STYLE
BEYOND CORONA, WITH US

